令和5年度

しまつなレター

～しまだつながるプロジェクト～

3月号

発行：島田市社会福祉協議会
住所：島田市大津通２番の１
電話：35-6244/FAX：34-3261

初倉地区

2.19(月)

中河地区 生活支援をつなぐ会

中河にあるふれあいサロン「ほのぼの会」では、地域の道路状況や参加者の高齢化が進み、**「会場に来ることがだんだん大変に…」**という声に応えようと地元の社会福祉法人が、**「送迎のお手伝いができないか」**とつながり、令和５年11月から検討がスタート！今回は4月からの送迎実施に向けた最終確認を行いました。ほのぼの会代表の戸塚さんは、「多くの協力があってここまで来た、ほんとうにありがたい。」またひとつ地域の助け合い活動が生まれました。

川根地区

2.9(金)

福祉教育 ～災害講座～

川根小学校の４年生を対象に「災害講座」を実施。川根地区でも被害があった令和４年９月の台風15号や令和６年の元旦に起きた能登半島地震の話から**「今、みんなにできること」**を子どもたちと考えました！
その結果、募金活動と寄せ書きの２つに決定♪授業時間内に寄せ書きを作成し、現在学校で募金活動を行っています。子どもたちからは**「元気と勇気を届けたい」**などの声が多く聞こえ、子どもたちの優しさとパワーを感じられる時間でした。

社協主催

1.29(月)

ママに向けた防災講座

アイラップで炊いたご飯を試食中

防災お菓子リュック完成✨

29日の福の日に**「ママに向けた防災講座」**を開催しました。日ごろのつながりが防災に。日常からどう備えるか、無理せず、楽しく。**災害は「日常」の延長。**そんなキーワードたくさんありました。島ママDreamさん、子育てサポートちょこっとさんにもご協力いただき、防災お菓子リュックの作成やアイラップを活用した災害時の調理法などを実践しました。

参加したママの声

- 防災は特別ではなく日常の延長ということが納得できた。
- ご近所のつながりが、いざという時にとても大切なことだと感じた。
- 同世代の子を持つ方たちと交流できて、防災も学べて楽しかった。
- いざという時のためのものが、楽しく手軽に作れることが分かり勉強になった。

サロン居場所つながり連絡会を実施！

2.13(火)開催

49団体参加！

市内には地域サロン、居場所の活動を行っていただいてる団体があり、市全体で「122か所」あります。“ 地域に住むみんなが楽しく集まれる”そんな場の開催をしてくださっています！今回は社協から補助金を交付させていただいている団体さんへ、活動報告と補助金について連絡会を実施。皆さんの活動は交流の場はもちろんのこと普段の見守りにもつながります。訪問するサロンや居場所はいつも笑顔でいっぱい😊
地域で活動し、地域のことをよく知る皆さんは、社協にとっても「心強いパートナー」です。
これからも「地域のこと」を私たちに教えてください！！

サロン、居場所の活動の様子✨

地域には子どもから高齢者まで
楽しく過ごせる場所がたくさん♡

活動中の万が一の“ケガ”などに備えましょう

令和6年度 information

【ボランティア保険受付開始】

3/1（金）～

＊令和6年度からの変更点
①活動保険のプラン変更
（基本プラン・天災プランのみ）
②保険料のゆうちょ振込手数料が無料に
③保険受付場所
本　　所（島田市大津通り2番の１）
川根支所（島田市身成3100）

☆詳しい補償内容はパンフレットでご確認ください

ボランティア活動保険

対象	自発的に無償の活動を行っている方
補償期間	令和６年４月１日～令和７年３月31日 （４月１日以降加入の場合はその翌日から適用）

★加入プラン　※今年度は特定感染症重点プランはありません　**保険料は社協窓口で支払い**

	基本プラン	天災・地震補償プラン
年間保険料	350円	500円
地震噴火津波によるケガ	×	○

※前年度からの継続で４月１日付加入の場合は初日から補償

ボランティア行事用保険

対象	ボランティアが主体となって行う様々な行事に参加する方全員
加入手続き	行事実施の前日まで　**保険料は郵便局で支払い（振込手数料無料）**

★加入プラン　※昨年度から変更はありません

	Ａプラン	Ｂプラン	Ｃプラン
対象行事	日帰り行事 （区分あり）	宿泊を伴う行事 （行事種類不問）	日帰り行事 （開催場所制限あり）
保険料（１名あたり）	Ａ１：28円 Ａ２：126円 Ａ３：248円	宿泊数により異なる	28円
最低保険料	20名分の金額 加入人数の制限なし	なし	560円
参加者名簿の提出	必須（氏名・住所・電話番号）		不要
往復途上の補償	あり		なし

地域つながり推進班

森下's コーナー　～俳句編～

Ｑ　誰が詠んだ句か？

古池や　蛙飛びこむ　水の音

Ａ　松尾芭蕉